

## 政務活動調査報告書

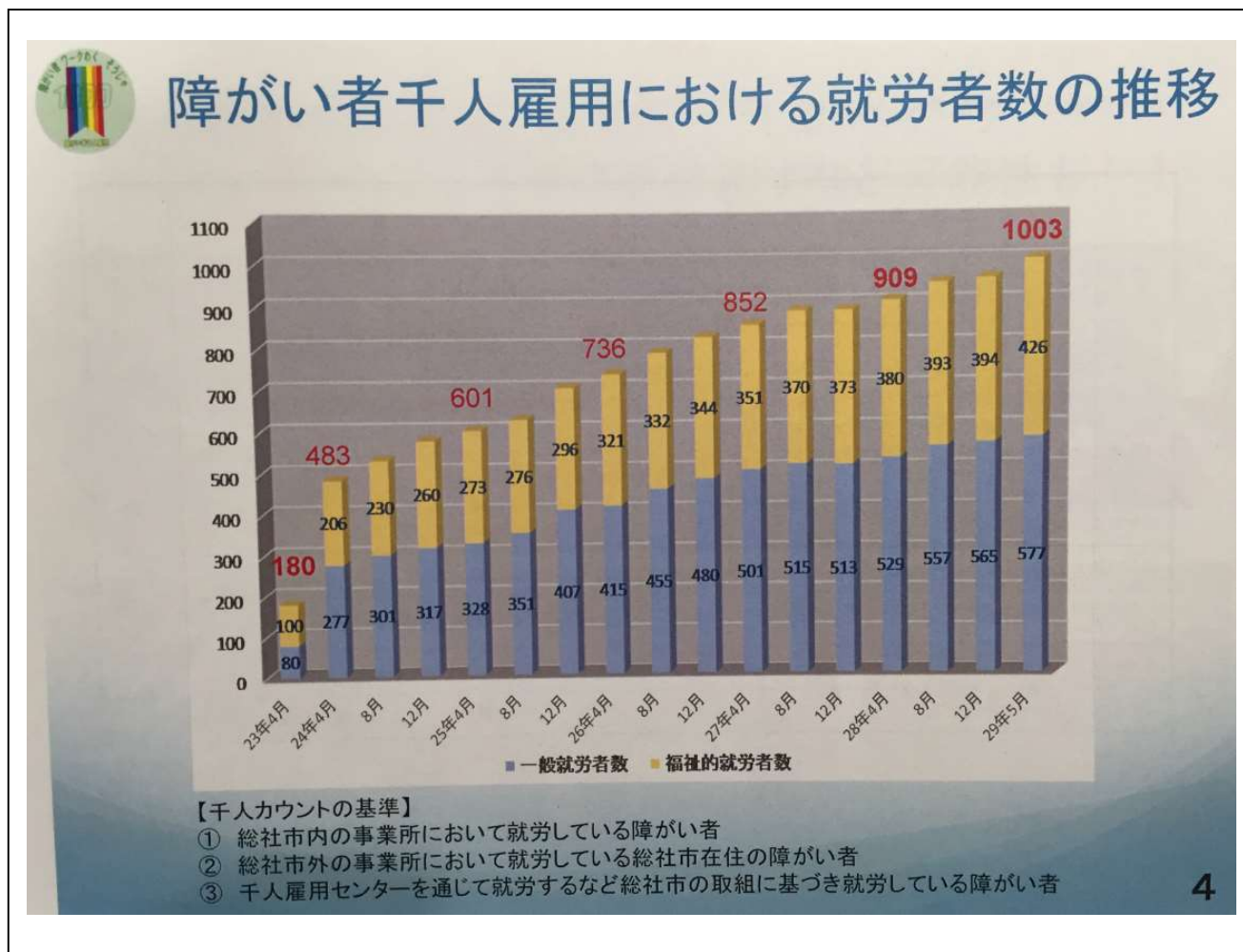
調査日	平成29年7月25日(火)
視察場所	岡山県 総社市
調査項目	障がい者千人雇用について
視察者名	畔柳敏彦 畑尻宣長
市の概要	面積：212.47 km <sup>2</sup> 人口：193,123人 人口密度：887.91人/km <sup>2</sup> 世帯：86,875世帯 経常収支比率：91.3% 実質公債費比率：8.6%

### <障がい者千人雇用事業の経緯>

- H20年9月・・リーマンショックが障がい者雇用のきっかけ  
市内2000人以上が職を失う大打撃。有効求人倍率は過去最低の0.29倍  
「こんな時こそ支援すべきは障がい者!!」との市長の思い
- H22年12月・・新設の県立支援学校の設立地がお隣の倉敷市の決定  
支援学校を卒業した後の働く場所は、総社市が担うという強い決意
- H23年4月・・「障がい者千人雇用」を開始(27年度末までの5ヵ年計画)  
ハローワーク、企業関係者などで組織する「障がい者千人雇用委員会」を設置(5月12日)し、課題を抽出
- H23年7月・・「就労支援ルーム」の設置(埼玉県志木市に次ぎ2番目)  
ハローワーク総社と「福祉から就労」支援協定を締結(5月23日)したことを受け、市職員2名がハローワークに常駐!
- H23年10月・・総社商工会議所と包括協定を締結  
会員企業に対し、助成制度の周知やセミナー、雇用意向調査、福祉的事業所の見学等を開始
- H23年12月・・「障がい者千人雇用し推進条例」を制定  
障がい者千人雇用実現のための基本的事項や市・企業・市民の役割を明文化する
- H24年1月・・市主催の障がい者就職説明会を開催  
市主催で、ハローワーク総社、雇用開発協会、商工会議所と共に、障がい者と企業の出会いの場づくり

- H24年4月・「障がい者千人雇用センター」を設置  
マッチングと生活支援の拠点。障がい者就業・生活支援センター及びハローワークから職員派遣
- H25年4月・千人雇用をライフステージ支援として位置付け  
千人雇用を中心に。就学前・就学時の支援、安定した老後のための居住支援を視野に入れて政策を検討することに
- H26年6月・「就学移行支援金制度」の創設  
福祉的就労から一般就労へ移行し、6カ月以上経過した方に10万円を支給する独自施策の実施
- H29年5月・「障がい者千人雇用」事業による就労者1,000人達成  
H29.5月の集計より1,003人となり、目標としていた1,000人を達成

＜障がい者千人雇用における就労者数の推移＞



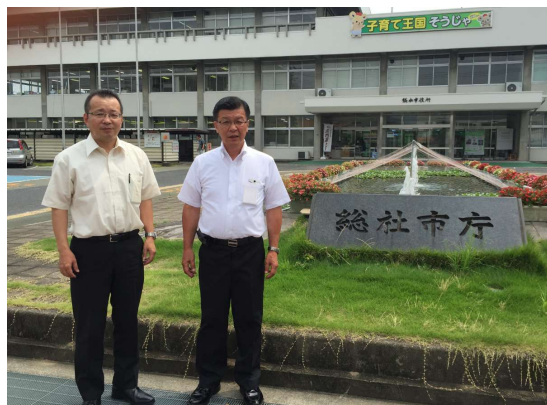
## ＜障がい者千人雇用に係る経費の推移＞

一般会計決算額

平成 22 年	8,202 万円
平成 23 年	1 億 2,816 万円
平成 24 年	2 億 272 万円
平成 25 年	2 億 7,432 万円
平成 26 年	3 億 2,698 万円
平成 27 年	3 億 6,046 万円
平成 28 年	3 億 9,839 万円

※障がい者千人雇用事業（単市）、地域活動支援

センター（委託）、就労移行支援、就労し継続支援 A 型、B 型 の合計金額

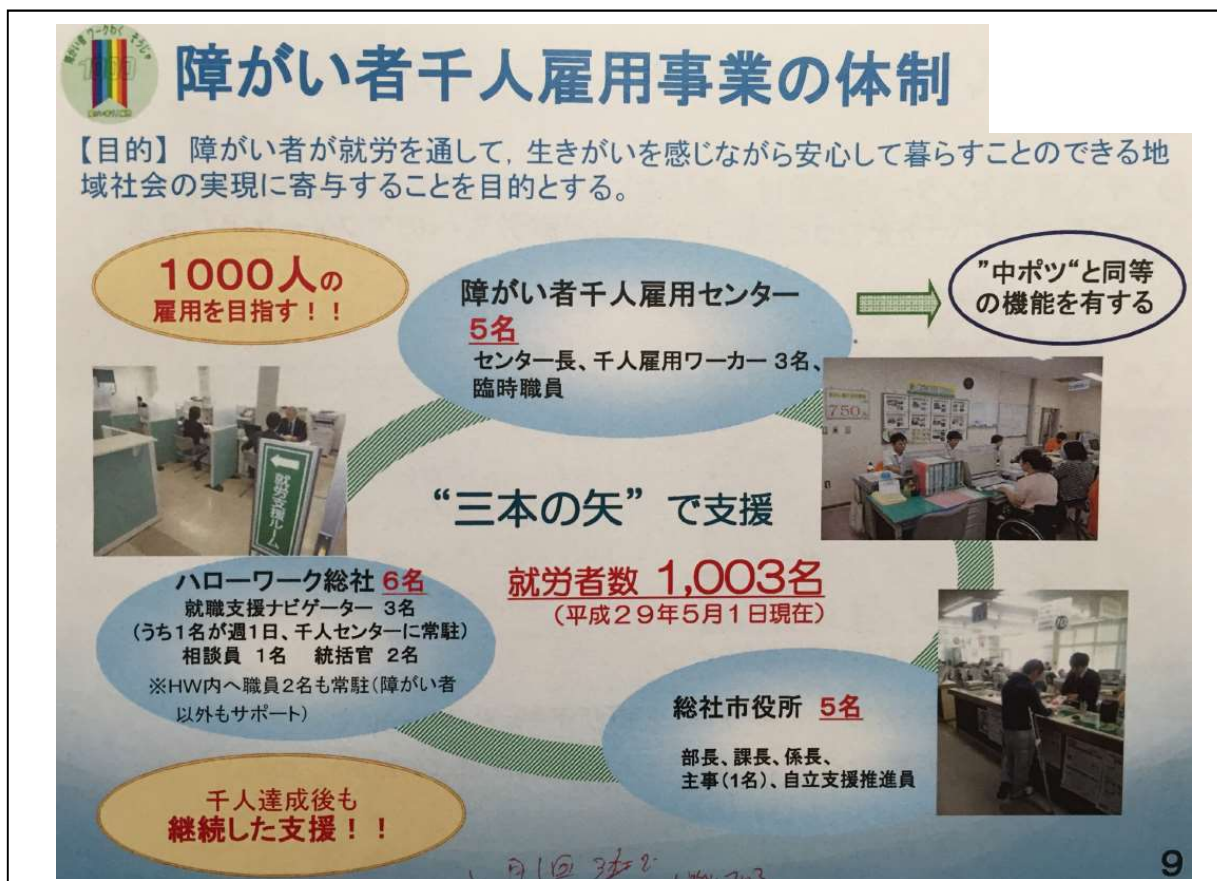


障がい者千人雇用事業（単市）のみ

平成 24 年	900 万円
平成 25 年	1,264 万円
平成 26 年	1,556 万円
平成 27 年	1,556 万円
平成 28 年	1,775 万円



## ＜障がい者千人雇用事業の体制＞



就労継続支援 A 型事業所・・・9 か所 （6年間で0 か所から9 か所へ増える）  
 就労継続支援 B 型事業所・・・9 か所



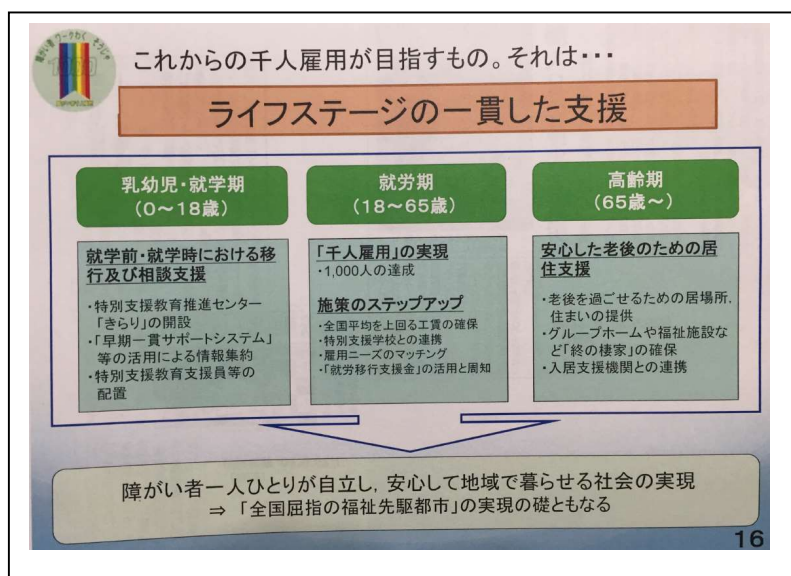
市役所内の障がい者千人雇用センターと掲示板

### <現在の課題・今後の展開について>

- 平成 23 年 7 月より、ハローワーク総社の 2 階に「就労支援ルーム」を設置し、「福祉から就労」に向けてワンストップで付き添い型の綿密な支援を実施しています。
- 平成 23 年 7 月から 29 年 4 月までに 650 人の障がい者が就職（市外も含む）
- 千人雇用センターの職員は、登録者に対してマッチングから生活までマンツーマンでサポートを行うとともに、企業など就労先へのアフターケアも担当しています。
- 農業・福祉の連携として、「そうじゃ地・食べ公社」が、野菜の苗を購入し事業所（A 型、B 型）へ提供。そこで出来た野菜を、「そうじゃ地・食べ公社」が野菜を購入するというシステムを構築しています。
- 乗合タクシー「雪舟くん」を活用しています。市内であれば、片道 200 円で通勤可能となっています。

様々な分野からの協力があって成り立っています。

- 今後は、高齢期（65 歳以上）の安心した老後の為の居住支援に乗り出していくということでした。



## <所 感>・・・畔柳敏彦

総社市の人口は 6 万 8 千 2 3 7 人で障がい者は約 3 千人で一般的就労年齢の 1 8 歳から 6 5 歳未満の障がい者は約 1,200 人である。総社市は平成 29 年 5 月 1 日現在で、障がい者雇 1,000 人を達成した。当然ながら新聞、TV などで報道されました。

この 1,000 人雇用事業のきっかけは、総社市が新設の県立支援学校誘致のため、市有地（約 2 万㎡）を無償提供するも、最終的には倉敷市に建設が決ったことにより、総社市は「支援学校を卒業した後の、働く場所は総社市が担う」という考えにシフトし、平成 2 3 年度から平成 2 7 年度までの 5 年間で、障がい者 1, 0 0 0 人の雇用を目指すという一大プロジェクトを実施することになったという。

「障がい者千人雇用」事業の経緯としては、平成 23 年から 5 か年計画でハローワーク、企業関係者などで組織する「障がい者千人雇用委員会」を設置、7 月にはハローワーク総社と「福祉から就労」支援協定を締結し、市職員 2 名をハローワークに常駐させ、「就労支援ルームを設置」した。ここではワンストップで付き添い型の綿密な支援を実施。12 月には「障がい者千人雇用推進条例」を制定し、平成 24 年 4 月には市役所内に障がい者千人雇用センターを設置し、ここの職員は、登録者に対して仕事のマッチングから生活までマンツーマンでサポートを行うとともに、企業などの就労先へのアフターケアも担当するというきめ細かな対応をし続けた。平成 26 年には「就労移行支援金制度」の創設をし、福祉的就労から一般就労に移行し、6 ヶ月以上経過した本人に 10 万円を支給する独自施策を実施し、障がい者の仕事の継続の後押しをしているようだ。そして平成 29 年 5 月に計画の 1 年遅れでありましたが、ついに「障がい者雇用千人」の達成を迎えたということでもあります。障がい者千人達成の偉業を支えたものは、交通手段でありました。勤務先への交通手段が便利かどうかは仕事を継続できるかの分岐点ともなると考えますが、市内をカバーしている乗り合いタクシー「雪舟くん」を活用して市内なら片道 200 円で通勤ができる。従来の交通不便対策がこの障がい者千人雇用事業に大きく貢献している。交通不便地域や高齢者の免許返納後の対策が障がい者雇用の促進に効果的であることを見ると、本市も鳥の目のような観点から組織横断的に施策に取り組む必要を感じる。

また、総社市は市が主催となり、ハローワーク総社等との共催で障がい者向け就職面接会の実施、市の広報紙「広報そうじゃ」の表紙・特集など障がい者雇用に関連するものを前面に出してアピールし、障がい者への理解や障がい者雇用へ、市全体の意識改革を推進してきた結果であると考えます。

この「障がい者千人雇用」実現の本来の目的は、総社市が障がい児・者のライフステージの一貫した支援の基盤づくりとしていることでもあります。

0 歳～18 歳の乳幼児・就学期には就学前・就学時における移行及び相談支援として、①特別支援教育推進センター「きらり」の開設②「早期一貫サポートシステム」等の活用による情報集約③特別支援教育支援員等の配置。18 歳～65 歳の就労期は「千人雇用」の実現を図り、施策のステップアップを目指すことにあります。①全国平均を上回る工賃の確保②特別支援学校との連携③雇用ニーズのマッチング④「就労移行支援金」の活用と周知であります。次に 65 歳以上の高齢期に必要な施策は安心した老後のための居住支援であるということ。

①老後を過ごせるための居場所、住まいの提供②グループホームや福祉施設など「終の棲家」の確保③入居支援機関との連携を進めている。障がい者一人一人が自立し、安心して暮らせる社会の実現をしていき総社市を「全国屈指の福祉先進都市」の実現の礎を築こうとしている

この事業を片岡市長がやろうと言い出したが、行政職員はできない理由を並べ立てたという。しかし、一見、不可能に見える夢のような数字の実現には首長の真剣な情熱と説得により始まったといっても過言ではないと思います。片岡市長はホームページのインタビューに答えています。「彼らが生まれ育って、働いて、老いていくことができる仕組みをまず作って、これから先、誰が市長をやっても、大丈夫なようにセットできたら、多くの人が救われると思っています。

僕の夢はね、障がい者の「人生の3段階」を、総社市で完成させることなんです。ファーストステージは「生まれて育ち、教育する」こと。セカンドステージは「就労、社会に出る」ことそしてラストステージは、「老い、死んでいく」場を用意すること。だから障がい者を1,000人雇用することを目標にした「障がい者千人雇用」っていうのははじめたんです。

今回の調査で特に感じたのは、首長の決断により、行政はいろんな色に変えていけるものであるのだと感じた。働ける障がい者には働ける場所の提供ができるように企業などにも啓発を促し、発信し続けることの重要性を再認識させられた。障がい者雇用は本市においても大きな政策の柱に掲げられるように議会を通じて提言してまいりたいと決意させられた。

### <所 感>・・・畑尻宣長

総社市において、障がい者千人雇用事業について学んできました。はじめに、平成26年の片岡市長の取材の言葉に感銘を受けました。それは「僕の夢はね、障がい者の「人生の3段階」を、総社市で完成させることなんです。ファーストステージは「生まれて育ち、教育する」こと。セカンドステージは「就労、社会に出る」こと。そしてラストステージは、「老い、死んでいく」場を用意すること。だからまず、障がい者を1000人雇用することを目標にした「障がい者千人雇用」っていうのを始めたんですよ」と言われていました。どうしても、障がい者に対しての雇用は、進んでいません。国も法定雇用率を引き上げ、障がい者に働く機会を広げようとはしていますが、現実には進んでいないように感じています。そんな中、総社市の取り組みは、障がい者のみならず、その親御さんにも大変喜ばれていることだと感じました。

まずは、就労支援ルームを設置し、ハローワーク総社との連携から始まり、総社商工会議所との包括協定の締結。そういった状況を作り上げながら、「障がい者千人雇用推進条例」を制定して前へ前へと進めてきました。まさしく市長が大きく大胆に推進してきたことが大きな推進力になっていたのだと思います。本市では、市役所庁舎内に、就労サポートセンターが設置されておりますが、それは、福祉部が管轄されておりますが、生活保護受給者のためのサポート機能であるというのが特徴であります。上手く活用できれば本市でも可能ではないかと感じました。

ハローワーク総社では、23年7月から29年4月までに650人もの障がい者の就職を勝ち取っています。それは障がいを持っている方にとって、とても勇気づけられることだと思います。私は、障がいをお持ちの方の親御さんから、就労についての相談を受けることがあります。実際は、就労先がなく、働きたいのに働けない、そんな状況でありました。どこまでも寄り添って相談に乗ってもらえるところが必要だと考えています。それが、この障がい者千人雇用センターでは、就労の相談だけでなく、就職してからのアフターフォローまでしています。障がい者本人だけでなく、会社側にも、意見などを聞いて、長くそこで働けるよう間に入って相談に乗っています。そうした、きめ細かい動きが出来ていたからこそ、1000人もの雇用が出来たのだと思います。単なる部署の創設というだけでは、成し得なかったことと思います。片岡市長の思いを形に変えていく工夫が現場での職員さんの士気を高めたことと思います。

総社市が行う取り組みでは、単市で行う就労支援金があります。福祉的就労から一般就労へ移行し6カ月以上経過した方に就労支援金として10万円を支給しています。これは、一般就労出来るところを、職員の方が開拓しているということも、進んでいる理由になっています。受け入れてくれる企業がなければ、本人の意思があっても出来ませんし、企業側も用意が必要でありますので、社会貢献と簡単に言えますが、進めていくうえではとても大変なことだと思います。こうしたことをひとつひとつ積み重ねてきたからこそ出来た千人雇用だと感じました。

最後に、これからを考えるときに市長は「次は彼らが『老いていく』場所を整えたい。彼らは結婚できない人がほとんどです。けれど要介護にはならないかぎり、特別養護老人ホームも入れず、独り暮らしになってしまうんです。最後は人知れず独居死してしまう人が多い。だから、彼らが安心して老いていける住まいを作ろうと思っているんです。そこで、まず手始めにアパートに、二人ずつの部屋を3つ借りて、6人入居できるようにしました。それをオープンしたらすぐ埋まった。中略 生まれてから死んでいくまでを総社市で完結させることができれば、お母さんたちに、もしも障害のある子どもを授かったとしても、安心して生みなさいって言える。そういう文化ができる」といわれています。まさしく、究極の理想だと思いますが、今、総社市が進めている方向性はまさしく理想に向かっていると思います。忘れてはいけないのは、それに伴う経費も右肩上がり伸びていることも、財政全般を考慮に入れた運営をしなくてははいけません。しかし、本市としても、障がい者が住みやすい街にしていくために、将来の不安を少しでも和らげるためにも、重要な施策だと思います。取り組んでもらえるよう提案して参ります。

以 上